

平成30年度 第1回

地域包括支援に関する会議

資料 6

3 報告

- (1) 介護予防・生活支援サービス「短期集中予防型」の
実施について

平成 29 年度 短期集中予防型（サービス C）検証実施の結果報告

1 事業概要

平成 28 年 10 月より開始している介護予防・生活支援サービス事業において、「訪問と通所を組み合わせた短期集中予防型（サービス C）」について、平成 28 年度の直営でのモデル事業実施結果を踏まえ、平成 29 年度は事業所への委託による検証実施を行った。

（1）対象者

- ・要支援認定者（要支援 1・2）
- ・事業対象者（基本チェックリストに該当し、介護予防マネジメントの依頼をした者）

（2）実施時期

平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月

（3）実施方法

委託により実施（医療法人、社会福祉法人等 7 ヶ所）

（4）実施内容

短期集中によるサービス提供を行った後、自主的な介護予防活動の継続に向けた O B ・ O G 会の場を提供した。

① 短期集中予防型

訪問及び通所を組み合わせたサービスを提供した。

【訪問サービス】

リハビリテーション専門職が訪問（地域包括支援センターが同行）を行い、生活機能の評価及び日常生活における困りごと等を把握した後、ケアプランへの反映を行った。

訪問回数～通所開始前 2 回、終了時 2 回（計 4 回）

【通所サービス】

週 1 回（90 分～120 分）、約 3 ヶ月間（12 回）の通所プログラムを提供した。

※主なプログラム内容

- ・生活行為の改善に向けた運動・栄養・口腔ケアについての講話・実技
- ・介護予防活動の継続に向けた動機付け等を組み込んだプログラム 等

② O B ・ O G 会

訪問及び通所サービスの終了後、利用者の地域での自主的な介護予防活動の継続性を高めることを目的に、自主的なグループ活動である O B ・ O G 会（週 1 回、約 2 ヶ月間）を行った。

※主なサービス内容

- ・グループ活動の支援
- ・運動のフォローアップ及び互助の力を高めるための側面的支援 等

※地域包括支援センターによるフォローアップ

- ・地域活動の紹介やつなぎ
- ・日常生活上の相談対応 等

2 実施結果

(1) 利用者の状況

- ・利用者数 ～ 34名（男性：11名、女性：23名）
- ・平均年齢 ～ 79.4歳（男性：78.1歳、女性：80.0歳）
- ・介護度

要支援1	要支援2	その他（要支援認定非該当等）
23名	6名	5名

(2) 実施状況

7カ所（各区1カ所）の事業所において実施した。

区	事業者名	開始	終了	利用者数
門司区	学校法人 国際学園	10月3日	3月27日	3
小倉北区	医療法人 共和会	10月6日	2月23日	6
小倉南区	社会福祉法人 容風会	10月7日	2月24日	7
若松区	医療法人 優和会こが医院	10月7日	3月24日	4
八幡東区	医療法人 ふらて会	10月16日	3月19日	4
八幡西区	特定非営利活動法人 北九州スポーツクラブ連絡会	10月5日	3月29日	5
戸畑区	社会医療法人 共愛会	10月20日	2月23日	5
合計				34

(3) 結果

- 訪問・通所サービスの利用者のほとんどが、約3ヶ月間のプログラムを終了し、OB・OG会の利用まで至っている。
 - 訪問・通所サービスの評価結果については、約半数が生活機能の向上または活動性・社会参加の向上が図れている（何らかの改善が図れた数を含めると、全体の約3/4に機能向上が見られている）。
- また、約半数は、明らかな生活機能の変化までは見られなかったが、疲労感の軽減や身体機能の改善など、何らかの変化が見られている。

※OB・OG会終了後、6ヶ月を目途にモニタリングを行い、その後の経過の把握及びフォローアップを実施する予定。

《サービス利用状況》

区	訪問・通所サービス利用者数		OB・OG会利用者数	
		途中終了者数		途中終了者数
門司区	3	—	3	—
小倉北区	6	—	6	—
小倉南区	7	—	7	—
若松区	4	—	4	1
八幡東区	4	1	3	1
八幡西区	5	1	4	—
戸畑区	5	—	4	—
合 計	34	2	31	2

※訪問・通所サービスを途中終了した者の主な理由

- ・腰痛の悪化 等

※OB・OG会を途中終了した者の主な理由

- ・転倒による骨折の治療
- ・希望しない 等

《訪問・通所サービスにおける評価結果》

活動性・社会参加の向上が図れた利用者数	4
生活機能の向上が図れた利用者数	12
明らかな生活変化までは見られないが、疲労軽減や体力測定結果の改善など、何らかの改善が図れた利用者数	10
ほぼ変化が見られなく、生活機能が維持されている利用者数	6
生活機能の低下が見られた利用者数	0
評価不能の利用者数	2
合 計	34

※評価不能の利用者の主な理由

- ・腰痛の悪化 等

3 今後の課題

(1) 必要な方がサービスにつながる仕組み（入口部分）

事業周知が十分でなかったため、ケアマネジメントの際に対象者に対してのアプローチが不十分なところがあった。

(2) サービス終了後の受け皿づくり（出口部分）

地域活動の把握が十分でなかったため、サービスを終了した利用者に対して、活動への紹介やつながりが不十分なところがあった。

短期集中予防型プログラム実施結果(個別整理表)

No.	年齢	介護度	心身機能	生活機能	本人の目標等	結果(改善・課題点等)
1	80代	要支援2	・糖尿病 ・腰痛 ・歩行時の左足の痛み	・室内は伝え歩き ・屋外は杖を使用して50m歩くごとに休憩 ・掃除、洗濯、料理、買物は、自立しているが、やや負担を感じている	・腰をまっすぐにして転倒せず安全に歩きたい ・友人の歩く速度に合わせて歩き、買い物を楽しみたい	【生活機能の向上】 ・掃除、洗濯、料理が楽にできるようになり、自信が得られている ・一人でバスに乗って外出する頻度が増えている
2	80代	要支援2	・腰椎圧迫骨折(骨粗しょう症) ・高血圧 ・腰痛、易疲労性 ・認知機能の低下	・杖を使用して15分程度の歩行ができる(転倒の不安あり) ・簡単にできる掃除はしている ・買い物、ゴミ出しは家族がする	・姿勢をできるだけまっすぐにして、転倒せず安全に歩きたい ・疲れないように家事を行いたい	【生活機能の向上】 ・歩行時の転倒不安が軽減 ・友人と外出するようになった ・散歩が日課となった
3	70代	要支援1	・腰部脊柱管狭窄症(下垂足あり) ・下肢筋力の低下 ・高血圧	・室内は伝え歩き ・屋外は杖を使用して歩行 ・掃除、洗濯、料理は家族が行うも、ゴミ出しは何とか本人が行う	・腰をまっすぐにして転倒せず安全に歩きたい ・今の健康状態を維持して自宅で暮らしたい	【活動性・社会参加の向上】 ・杖を使用せず屋外を歩行 ・やめていたグランドゴルフ・コーラスを再開した ・地域の集会にも積極的に参加
4	70代	要支援2	・パーキンソン病 ・脊柱の側弯あり ・廃用性による筋力低下 ・腰部、左股関節に痛み	・室内、屋外とも一人で歩行できている ・週4～5日は近辺を散歩している ・掃除、洗濯、料理など、やや負担はあるもほぼできている	・もう少し長い距離を歩け、温泉等に行けるようになりたい ・以前のように少し畑仕事ができるようになりたい	【活動性・社会参加の向上】 ・散歩する距離が伸びている ・散歩中に近隣住民との会話や通院時に親戚と食事をするなど、活動性が向上している
5	80代	要支援1	・腰部脊柱管狭窄症 ・下肢のしびれ ・バランス力の低下	・室内、屋外とも一人で歩行できている ・外出はほぼ毎日している ・掃除、洗濯、料理、買物はほぼできている ・週3回グランドゴルフに参加	・安心して外出できるようになりたい ・長い距離の移動が楽になりたい	【生活機能の維持】 ・下肢のしびれが増えてきており、医療面のサポートが必要だが、生活機能は維持できている。
6	80代	要支援2	・認知機能の低下 ・膝の痛み ・意欲の低下 ・転倒に対する恐怖心	・室内、屋外とも一人で歩行できている ・夜はポータブルトイレ使用 ・簡単にできる掃除は行い、掃除機は家族が行う ・ゴミ出しは家族が実施	・スーパーまでの買物が楽に行けるようになりたい	【生活機能の向上】 ・階段の上り下りが容易になっている(初回時には両手手すりであったものが片手でも可能) ・外出する頻度が増えている
7	70代	要支援2	・パーキンソン病 ・バランス力の低下	・室内、屋外とも一人で歩行できている ・ほぼ毎日散歩している ・掃除、洗濯、料理など、負担はあるも工夫して行っている	・バス等の公共交通機関を使用して百貨店等に行きたい ・もう少し安心して屋外を歩けるようになりたい	【生活機能の維持】 ・買物や自宅周辺の散歩は継続できている ・自宅での転倒が数回あり
8	80代	要支援1	・両膝人工関節置換 ・左臀部から大腿にかけての痛み	・屋外は杖を使用して歩行 ・入浴時の浴槽のまたぎが辛うじて可 ・掃除、洗濯、料理、買物など、負担はあるもほぼできている	・長距離を歩くことと左足の後ろ側に痛みがあるため、少しでも楽に歩けるようになりたい	【活動性・社会参加の向上】 ・足の痛みが軽減し、歩行能力が向上 ・近隣の外出やバス利用など、活動範囲が拡大 ・市民センターの折り紙教室への参加
9	70代	要支援1	・糖尿病 ・高血圧、不整脈 ・痙性脊髄麻痺 ・左下肢筋力低下 ・腰部脊柱管狭窄症様の症状	・室内は伝え歩き ・屋外は途中休憩を入れながら歩行している ・家事は家族が実施 ・食事以外は臥床かテレビをみている	・以前のように魚釣りに行きたい	【身体機能の改善】 ・体力測定において改善がみられた ・体重管理に定着が図れている ・糖尿病のコントロール不良(HbA1c=7.7)
10	80代	要支援1	・両膝人工関節置換(痛みあり) ・骨盤底筋群の弱体化 ・下肢筋力の低下	・室内は伝え歩き ・屋外は車いすを押しながら歩行 ・毎日医院には通っている ・掃除、洗濯、料理など、負担はあるもほぼできている	・排尿コントロールができるようになりたい ・医院や銭湯に行き続ける歩行能力や筋力をつけたい	【身体機能の改善】 ・歩行能力、持久力がやや向上 ・屋外はシルバーカーを利用して安定した歩行となっている
11	70代	非該当	・糖尿病 ・股関節固定により屈曲制限 ・腰部、左膝に痛み	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・入浴時の浴槽のまたぎが辛うじて可 ・掃除、洗濯、料理、買物など、負担はあるも工夫して行っている	・姿勢をよくしたい ・浴槽から楽に出られるようになりたい	【身体機能の改善】 ・連続歩行の疲労感が軽減
12	80代	要支援1	・小児麻痺があり足が動きにくい ・障害手帳4級	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・連続しての歩行が難しい ・掃除、洗濯、料理はほぼできている	・10分しか連続して歩けないので、もう少し楽に歩きたい	【生活機能の向上】 ・連続歩行時間が20分に向上
13	70代	要支援1	・左股人工関節置換 ・腰痛 ・下肢筋力の低下	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・掃除、洗濯、料理はほぼできている	・台所作業を楽にできるようになりたい	【生活機能の向上】 ・立位保持が楽になり、台所作業時間が向上
14	70代	要支援1	・右下肢に幼少期からやや麻痺あり ・筋力の低下・腰痛症・不眠症	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・連続しての歩行が難しい ・掃除、洗濯はほぼできている ・ゴミ出しは負担あるもできている	・旅行にいきたい ・スポーツクラブのプールに通いたい	【生活機能の向上】 ・40分の連続歩行が可能になっている ・釣りをするとところまでには至らないが、体力への自信向上によりその気持ちが強くなっている。
15	70代	非該当	・足の痛み・筋力の低下 ・めまい症・高血圧・乳がん術後 ・腰痛症	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・長い距離の歩行は負担感が強い ・掃除、洗濯、家の整理は家族が実施 ・料理は行うも長い時間の立位は負担感あり	・旅行にいきたい ・パソコンやカラオケをしたい	【生活機能の向上】 ・負担なく歩行できる距離が伸びている ・立位保持能力が向上し、料理の負担感が軽減している
16	80代	要支援1	・高血圧・C型肝炎・胸椎骨折 ・狭心症・腰痛症(コルセット着用) ・下肢および体幹筋力の低下	・室内は伝え歩き ・屋外は杖とシルバーカーを利用 ・掃除、洗濯はほぼできている ・料理は行うも長い時間の立位は負担感あり	・書道、レース編みがしたい ・スーパーまで杖を使用して行ける ・炊事が楽になる	【生活機能の向上】 ・立位保持能力が向上し、料理の負担感が軽減している
17	70代	要支援1	・下肢・体幹筋力の低下 ・膝の痛み ・バランス能力の低下 ・パーキンソン症候群	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・長い距離の歩行は負担感が強い ・洗濯、買物、ゴミ出しは家族が実施 ・通院以外はあまり外出しない	・屋外歩行を楽にできるようになりたい ・旅行にいきたい ・パソコンの操作が利き手でできるようになりたい	【生活機能の維持】 ・生活機能の維持ができている
18	80代	要支援1	・下肢筋力の低下 ・視力低下 ・パーキンソン病	・近隣の散歩は、ほぼ一人で歩行できる ・通院・買物などは不安があり、誰かと一緒に ・掃除、洗濯、料理はほぼできている	・安全に外出できるようになりたい ・旅行にいきたい	【身体機能の改善】 ・以前より歩行は楽になったが、一人での外出は不安
19	60代	要支援1	・筋力の低下 ・腰の痛み ・うつ病 ・脳下垂体水腫	・屋外の歩行は転倒に対する不安がある ・意欲の低下、体力の低下 ・自宅で過ごすことが多い ・掃除、洗濯、料理はほぼできている	・階段の上り下りを楽にできるようになりたい ・長い距離を歩けるようになりたい	【身体機能の改善】 ・歩行が安定してきているが、不安はまだある ・買物についても同様 OB・OG会不参加
20	80代	要支援1	・腰、膝の痛み ・筋力の低下 ・両変形性膝関節症 ・右股関節人工関節置換術後	・屋外は杖を使用して歩行 ・外出後は疲れのため家事が思うように進まない ・入浴時の浴槽の出入りが辛うじて可 ・掃除、洗濯、買物は負担感がある	・楽に歩けるようになりたい ・外出を楽にできるようになりたい ・お風呂のまたぎが不安なくできるようにしたい	【生活機能の維持】 ・歩行時に腰部、膝関節に疼痛が出現するために長距離の歩行はできない

短期集中予防型プログラム実施結果(個別整理表)

No.	年齢	介護度	心身機能	生活機能	本人の目標等	結果(改善・課題点等)
21	80代	要支援1	・両変形性膝関節症 ・腰部脊柱管狭窄症 ・高血圧	・屋外の長い距離の歩行は難しい(時々コルセットを使用) ・掃除やマッサージ器の利用で家で過ごすことが多い ・午後は病院のリハビリ治療 ・移動は家族の車、帰りはバスを利用	・膝の痛み、腰痛の悪化を防ぎ、自宅での負担の少ない動作や運動方法を習得する ・腰痛体操、下肢の筋力トレーニングが自身で行えるようになる	【評価不能】 ・膝痛増強のため2回目までで中止
22	70代	非該当	・脳梗塞(3回)後、左片麻痺(軽度) ・喘息 ・高血圧	・膝の調子が悪く、まっすぐ歩けない ・杖歩行 ・家に閉じこもりがち ・浴室での転倒もあったため、手すり設置	・転倒なく、外出でき、活動クラブの参加が継続できる ・歩行の安定 ・外出頻度の増加	【生活機能の維持】 ・バランス機能は向上しなかった。夜間転倒が改善しなかった ・生活機能は維持できた
23	80代	要支援1	・腰の痛み(腰椎圧迫骨折) ・骨粗しょう症 ・高血圧 ・聴覚障害2級(補聴器使用)	・自分なりに体操を実施している ・独居のため家事は自分でする	・自身で行える体操を習得し、自宅で運動を行うことができる ・腰痛体操の習得、きたきゆう体操の習得	【活動性・社会参加の向上】 ・うつ傾向が減少 ・市民センターのサロンへの参加につながった
24	80代	要支援1	・リウマチ ・狭心症 ・不整脈 ・難聴	・関節リウマチにより両肘から手先に痛みがあり、握力が弱い ・家事は家族と役割分担して実施 ・買い物、通院以外に外出はしない	・着物を着て外出できるようになりたい ・日常生活動作や家事動作がスムーズに動けるようになる	【身体機能の改善】 ・体力測定において改善がみられた
25	80代	要支援2	・バセドウ病 ・腰の痛み ・高血圧	・室内は伝い歩き ・屋外は杖を使用して歩行 ・掃除はモップで行い浴室掃除は家族が実施 ・洗濯、料理はほぼできている ・買物で重い物となる時は家族が同伴する	・しっかりと歩けるようになりたい ・スムーズにしゃべれるようになりたい	【生活機能の向上】 ・室内での立ち上がり、移動に支えが必要なくなっている ・屋外での移動時に杖の使用が減ってきている ・表情や発声量が良くなったと感じている
26	80代	非該当	・脊柱管狭窄症 ・右半身のしびれ感	・屋外は杖を使用して歩行 ・入浴時の浴槽のまたぎに不安がある ・掃除、洗濯、料理は家族が実施 ・以前は地域活動していたが、現在は参加していない	・グランドゴルフにまた行けるようになりたい ・温泉にも行きたい	【生活機能の向上】 ・屋外の移動時に杖の使用が減ってきている ・外出頻度が増えてきている ・グランドゴルフが楽に行けるようになってきている
27	70代	要支援1	・変形性脊椎症 ・変形性膝関節症(左) ・腰、左膝の痛み	・屋外は時々杖を使用して歩行 ・掃除、洗濯、料理、買物はほぼできている ・ゴミ出しができています	・老化が急激に進まないよう、筋力低下を防止したい ・転倒することなく、楽に歩けるようになりたい	【身体機能の改善】 ・玄関、勝手口、浴室内に手すりがついたことにより室内移動が安心して行えている。
28	80代	非該当	・脊柱管狭窄症 ・腰、膝、肩の痛み ・肥満	・室内移動時に膝折れがおこることがある ・屋外歩行はほとんど行っていない ・痛みのため着替えが辛うじて可 ・日中はほとんどテレビをみて過ごす	・料理や掃除を以前のようにしたい ・痛みなく歩けるようになって、友人宅へ遊びに行きたい	【生活機能の向上】 ・室内移動が安定して行えている ・教室参加により、他者との交流を積極的に行えている
29	80代	要支援1	・右手骨折 ・両膝痛 ・大腸がん ・左股関節人工関節 ・居室ブロック:ペースメーカー	・歩行自立 ・身の回りのことは自分で行っている ・両膝の痛みがあり、外出の機会が減っている ・足が弱ったと感じる	・体力と筋力をつけ、外出の機会を持つ。 ・自宅で行っているストレッチが正しくできているか確認する	【評価不能】 ・膝痛が増強したため、通所サービス利用せず。
30	80代	要支援1	・筋力の低下 ・腰の痛み ・右膝関節、左股関節の術後	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・長い距離の歩行は負担感がある ・洗濯、料理はほぼできている ・掃除はモップを使用している	・買物や通院で歩くことが楽になる	【身体機能の改善】 ・屋外の歩行時の負担感が軽減している
31	70代	要支援1	・腰椎圧迫骨折 ・左変形性膝関節症 ・腰、膝の痛み ・筋力の低下 ・左膝人工関節の術後	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・長い距離の歩行は負担感がある ・洗濯、掃除、料理はほぼできている ・カラオケに行っている	・こけないで買物や家でのことが行える ・これからもカラオケに行ける	【身体機能の改善】 ・屋外の歩行時の負担感が軽減している
32	70代	要支援1	・筋力の低下 ・圧迫骨折 ・脳血栓	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・洗濯、掃除、料理はほぼできている ・大正琴の教室に通っている	・今できていることが変わらずに行える	【生活機能の維持】 ・独居が継続できている
33	70代	要支援1	・心臓の弁置換術後のため上肢の動作が不安	・室内、屋外ともほぼ一人で歩行できている ・洗濯、料理はほぼできている ・術後で上肢を使うことに不安が強い ・パソコン教室に通っている	・掃除が心配なく行えるようになる ・荷物を持てるようになる(現在少ししか持てない)	【生活機能の向上】 ・上肢動作が安定して行えるようになっている ・掃除ができるようになっている
34	70代	要支援1	・脊髄小脳変性症 ・進行性疾患 ・糖尿病内服治療中	・室内、室外とも歩行(杖使用)にやや不安定さがある ・洗濯、掃除、料理はほぼできている ・市民センターでの活動に参加している	・買物や教室に行く際に楽に歩けるようになりたい ・会話がもっと自然に行えるようになりたい	【身体機能の改善】 ・発語は少し改善した ・歩行の体力はなんとか維持できている